

観光社会資本の事例

テーマ	関西国際空港
【施設の状況写真】   <p data-bbox="225 846 708 987">関西国際空港は大阪湾南東部の泉州沖約5 kmの海上に位置する、国内屈指の国際拠点空港です。</p> <p data-bbox="900 846 1383 987">イタリアの建築家、レンゾ・ピアノが設計したターミナルビルは、国際化する関西の玄関にふさわしい創造的で機能的な施設となっています。</p>	
【施設の利用写真】    <p data-bbox="172 1368 651 1509">関空展望ホール「Sky View」は、日本初の本格的な航空テーマパークとしてスケールアップし、連日多くのお客様で賑わっています。</p> <p data-bbox="703 1368 1410 1509">関西国際空港では、飛行機に乗らない方でも楽しめる空港を目指して、1年を通じ様々なイベントを実施しています。 (写真左:ドラゴンボート大会 写真右:関空緑日)</p>	
【観光資源としての利用状況】 <p data-bbox="150 1637 1442 1912">関西国際空港は平成6年9月の開港以来、日本の空の玄関として活躍し、日本経済の発展に大きく寄与しました。飛行機に乗られる方もそうでない方も、すべてのお客様にとって便利で、快適で、楽しめる空港を目指して様々な取り組みをしております。平成16年度には、開港10周年を記念した様々なイベントを年間を通じて実施しました。(【主な実施例】ゴールデンウィーク:関空緑日、夏:関空夏祭り・ドラゴンボート大会・スカイフェスタ等、秋:二期空港島マラソン大会、冬:クリスマスイベント・カウントダウンイベント、春:旅行フェスティバル)平成17年度以降においても、継続的に各種イベントを実施していく予定です。</p> <p data-bbox="150 1924 1442 2007">また、対岸のりんくうタウンには西日本最大規模のアウトレットモール「りんくう・プレミアムアウトレット」やマーブルビーチ、イオンりんくうショッピングセンターがあり、関空・りんくうタウンは多くの人々で賑わっています。</p>	

テーマ	関西国際空港
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 関西国際空港</p> <p>所在地 大阪府泉佐野市泉州空港北1番地</p> <p>事業名</p> <p>事業主体 関西国際空港株式会社</p> <p>事業期間 1期空港島(昭和62年～平成6年) 2期空港島(平成11年～)</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>関西国際空港の概要</p> <p>大阪国際空港(伊丹空港)の騒音問題に端を発して設置された関西国際空港は、これまで関西のみならず日本のグローバル化・ボーダレス化に大きく貢献してきました。今後、東アジアを中心に、世界的に航空需要の伸びが確実に見込まれており、2007年の供用開始を目指して平行滑走路の整備を進めています。</p> <p>関西国際空港の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然環境の保全に配慮した海上空港 日本を代表する24時間運用可能な空港 国際線と国内線のネットワークが充実し、乗り継ぎが便利 鉄道・リムジンバス等の多様なアクセスが充実 <p>運用実績(開港後10年間(平成6年9月～平成16年8月)の延べ数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 離着陸回数 113万回(約3百回/日) 航空旅客数 1.8億人(約5万人/日) 航空貨物量 733万ト(約2千ト/日) 	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】 関西国際空港公式ホームページ http://www.kansai-airport.or.jp</p> <p>関西国際空港株式会社ホームページ http://www.kiac.co.jp</p>	

